

■1984年  
8月20日

第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

■発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円

**KSKP  
No.89**

ピンクの絵の具を塗って  
オーブンで焼いた、  
ユニークな鬼の焼物。

(作者:元陶芸クラブ Nさん)



滋賀医科大学小児科学講座教授

**竹内 義博 氏**

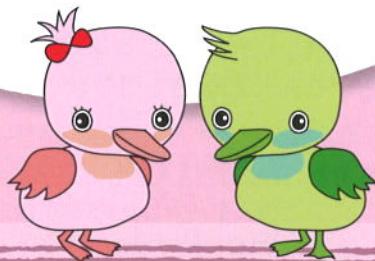
学術振興会から英国王立協会への派遣研究者としてイギリスへ留学。帰国後1990年より京都府立医科大学に勤務。2001年滋賀医科大学へ移り、現在は滋賀医科大学医学部附属病院病院長補佐を務める。

**CONTENTS コンテンツ**

<b>〈特集〉</b> 理想のシェアハウス考える。 [Part.1]生活ホームから見えてくる、障がいがある人たちの地域での暮らし	2・3
<b>〈お知らせ〉</b> 規約が変更されました	4
<b>〈レポート〉</b> 立命館守山中学校 障害児者理解教育合同講演会 感想文発表 障がい児者との共育・共生をめざす作文 受賞者発表	5
<b>〈インフォメーション〉</b> Dr.植松のQ&A	6
<b>〈トピックス〉</b> 目田川桜並木計画の桜のオーナーになりました! 「獅子舞で初笑い」&似顔絵 縁の下の力もちサン	7
<b>障害者権利条約ってなに?</b>	8

# かいつぶり 通信

題字 酒井雄哉大阿闍梨

**かいつぶりエッセイ vol.25****「父と子」**

20年前に亡くなった父の夢を最近よく見る。夢の中で父は私に語りかけることはなく、優しい眼差しで微笑んでいるだけである。昭和51年夏、東京医科歯科大学6回生であった私は、母校に残るべきか京都に帰るべきか迷っていた。家庭では普段無口であった父は夏休みに帰省した私に「長男だから京都に戻ったらどうか…。」とぽつりと言って呉れた。そんな父から高校生の頃にクローニンの「城砦」を読むことを勧められた。「城砦」はスコットランド出身の医師であるクローニンの半自伝的作品で、我が国では単行本として刊行された昭和15年から戦後にかけて、多くの医学生が読んだ世界十大ベストセラーの一つであった。青年医師のヒューマニズムと正義を描いた「城砦」はクローニンの代表作であり、医師を目指す若者は勿論だが、現在ではむしろ医療や教育の責任者にこそ再読して欲しい作品である。「城砦」以外にクローニンには「父と子」をテーマとして真実を求める激しい苦悩を描いた「帽子屋の城」「スペインの庭師」「地の果てまで」などの秀作があり、文学的にはこれらの作品群が高く評価されている。

私は帰省した息子と食事をしながら話すことは多いが、家庭で息子と向き合って話すことはほとんどない。結婚や将来の家のこと、互いに長男として話すべきことは多いはずだが、何故か照れくさく、今年も家族団欒で他愛ない話をして正月休みは終わった。考えてみると、最近、息子との真剣な話のほとんどは、墓参に向かう嵯峨野線の列車の座席や、冠婚葬祭のために待ち合わせて乗った新幹線の座席、つまり隣同士で同じ方向を見ている場合だけであったようと思う。それでも息子と話していると、まるで私の父と話しているような懐かしさが込み上げてくる。選んだ職業は異なるが、息子と話をした後はいつも清々しい気分になる。還暦を過ぎた私にとって、父と子の関係はこのようなもので良いのだろうと思っている。

## 理想のシェアハウスを考える

～障がいのある人たちとの安心安全で心豊かな暮らしの実現に向けて～

Part.1

### 生活ホームから見えてくる、障がいのある人たちの地域での暮らし

今、小地域での福祉活動が注目されています。地域にある福祉課題をそこに暮らす住民自らが取り組むことで、安心安全で心豊かな暮らしを実現していくこうというものです。こうした地域社会をつくっていく上で、障がいのある人たちとはどのように地域の中で溶け込んで暮らしていくことができるのか。そのヒントをグループホームの歴史（「民間下宿」「生活ホーム」「グループホーム」へと変遷した46年間）を目の当たりにしてこられた奥瀬美智子さんにお聞きしてきました。

#### ■奥瀬さんが世話人をしてこられた生活ホームは、いつごろスタートしたのですか。

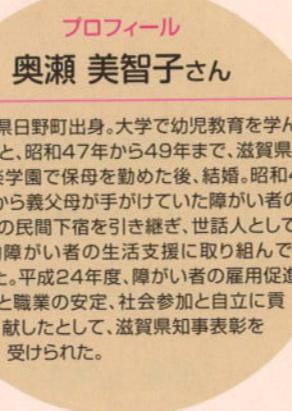
昭和40年に「民間下宿」という名前でスタートしました。信楽学園の職員だった義父が、信楽青年寮を創設された池田太郎先生から依頼されて始めたと聞いています。私は昭和49年に結婚して、世話を引き継ぎました。

#### ■どのようなきっかけで、スタートしたのですか。

もともと信楽には、信楽学園という児童施設がありました。信楽青年寮は、この児童施設を卒園した方の成人施設として創設されたのですが、当時、このような成人対象の施設が少なかったため、全国から入所希望者が集まっています。しかし、財団法人であったために措置費ではなく、全員が寮に入れる状況にならなかったのです。そこで、ある程度自立して生活できる人を地域の人に預かってもらおうと、食費だけいただく形で、地域の家庭で一緒に生活する「民間下宿」が始まりました。親元を離れて信楽に来ている人を、家庭的な雰囲気で受け止めようというものです。当時は20名程の方がこのような民間下宿を利用していました。その後平成元年にグループホームの制度が出来、自立支援ホーム、生活ホームとして一昨年に終了するまで46年間にわたって続けてきました。



利用者さんが使っていた部屋と、奥瀬さんが調理していた台所。



プロフィール  
奥瀬 美智子さん

滋賀県日野町出身。大学で幼児教育を学んだあと、昭和47年から49年まで、滋賀県立信楽学園で保母を勤めた後、結婚。昭和40年から義父が手がけていた障がい者のための民間下宿を引き継ぎ、世話人として知的障がい者の生活支援に取り組んできました。平成24年度、障がい者の雇用促進と職業の安定、社会参加と自立に貢献したとして、滋賀県知事表彰を受けられた。

#### ■どのくらいの人数の人を預かってこられたのですか。

開所当時は6、7人の方と常時一緒に生活していました。延べにすると、5、60人になるでしょう。みなさん、信楽で仕事をしておられましたので、朝は人数分のお弁当を作ります。夕方仕事を終えて帰ってこられると、一緒に食事をして順番にお風呂に入る、という生活でした。そんな中で私は子育てもしていましたから、晩ご飯の準備をしているときなどは、「ちょっと子どものお守りをしていて」と言って、利用者の方に預かってもらったりもしましたね。子どもには「一緒にお兄ちゃんの部屋で遊んでなさい」と言っていました。ですから、まさに家族の一員として、一緒に生活していました。



▲奥瀬さんが職員をしていました信楽学園

#### ■利用者の方は、どんな仕事をされていたのですか。

やはり地場産業の陶器づくりに関わる仕事が多かったです。彼らは、ここではなくてはならない存在だったんです。雇用する陶器屋さんも、彼らにできる仕事は何かというのをちゃんと考えていて、例えば材料を運ぶ仕事、でき上がった植木鉢を積む仕事、というように、それぞれの適材適所で雇用していました。賃金はそれに見合った金額しかもらえないでしたが、彼らの思いとしては、賃金がどれだけもらえるかというよりも、自分が必要とされるということが一番大切だったので、その意味では、地域で必要な労働力とされていたことは、とても良かったと思います。

#### ■働く場があるということ、そして家族同様に受け入れてくれる生活の場があるということで、信楽は利用者の方にとって温かさが得られる地域となってきたのですね。地域でこのように受け入れられるようになった背景には、何があったのでしょうか。

信楽寮（信楽学園の前身）は昭和27年に創設されたのですが、田舎の閉鎖的な地域ですから施設に対しては反対の声もあり、大変だったそうです。ところが翌年の昭和28年に、信楽で「多羅尾豪雨」による水害が起こって、多羅尾地区から神山地区まで、土石流が流

れて来たということがありました。そのとき、信楽学園の利用者の方々が復興作業を手伝われたことがきっかけになって、地域の人々に受け入れられるようになりました。

#### ■奥瀬さんご自身は、もともと暮らしの中で、障がいの方を身近に感じておられたんですか。

私は日野町の出身で、大学は京都に通っていました。幼児教育が専攻だったのですが、たまたま実習の単位取得のため信楽学園に実習に来たことがあります。そのとき、不思議にこの施設に来たらホッとして、「私に合うのは幼児教育ではなくて、障がいの方だったんだな」と思いました。それがきっかけで、福祉の道の方に進むことになりました。

生活ホームを続ける上でも、特に「この人たちのために」というような意識で取り組んではいるなと思ったと思います。ごく自然に、一緒に生活しているという感覚でしたね。

#### ■自立支援法が制定されて、どのようなところが変わったと思いますか。

今まで、キーパーと一緒に全員で買い物に行ったり、映画を見たりしていましたが、契約による個々の行動に代わり、お互いに助け合う気持ちが薄れてきたように思います。世話人の業務も時間で計算されるようになります本当に味気なくなりましたね。また、私は利用者の方を家族同然に思っていたので、いつも「うちの子」と言っていたのですが、それもいけないと言われて、大変ショックでした。親御さんは、「うちの子」と言ってくれると大変喜んでくださったんですが。

一昨年、グループホームをやめることに決めたのも、この制度の制約がありました。実は家族が病気になり、私は看病のため手が取られることになったのですが、契約を交わした世話人以外の家族が、利用者の食事の世話等を代行することができないんです。そんなこともあって、やめざるを得なくなりました。4人の利用者さんは、信楽青年寮のホームに移されました。元々はゴルフ場の職員の宿舎だったものを買い取られたものだそうです。

#### ■生活の形としては、スマートになったんですね。

そうですね。今はプライバシーのため、個室でないといけないと言われますからね。実は私はそれにも反対なんです。うちには重い障がいの人もいて、「お風呂」と言っても着替えることもできませんでした。でも、誰かが着替えをしていると、見よう見まねで少しぐらいはできるんですよね。それが個室になってしまったら、そういう人は何もできなくなってしまうでしょう。プライバシーのためには個室が良いというけれど、それは制度を作る人の考え方であって、本当にそこで生活している一人ひとりのことを見ていらないと思うんです。ですから実際に生活している人の中には、自立支援法になって苦労をされている方もおられるのではないかでしょうか。

#### ■奥瀬さんの言われるように、一人ひとりの生活に合わせた場をつくることで、理想のシェアハウスが造れそうですね。例えば庭があり、パティオがあって放射状に住まいがあり、必ずみんなと顔を合わせる空間がある、という場を作ることで、絆が作れるかもしれません。

しがらき会では、そのような場を理想にしておられ、ゆくゆくは地域にも開放できるような形にもっていきたいと話しておられました。ですから私はこれからどのような形になってくか、とても楽しみにしています。



▲乗光理事長と、元生活ホーム前にて。



▲奥瀬さんの赤い車を見かけると、以前の利用者さんが声を掛けてくれるという。  
◆当時の様子を忍ばせる、信楽焼の傘立て。

#### ■奥瀬さんご自身は、これから何かしていきたいと思つておられることはありますか。

かつて一緒に生活していた利用者さんは、買い物先などで出会うといつも手を振って「お姉さん！」と声を掛けてくれるんです。それがとても嬉しいんですね。彼らが「仕事を辞めたとしてもこの町の一員でいるんだぞ」という気持ちでいるのが分かるので、年齢的なことがあるので昔のようにはできませんが、その人たちがホッとでき、一緒に話ができるような場所を作れたらと思っています。

#### ■ありがとうございました。

### まとめ

社会のシステムは、自然発的に、あるいは、止むにやまれず生じてきたものを要点抽出して制度化することで、形を整えようとしています。その時に気をつけなければならないことは、元あった仕組の良さを壊さないことです。例えば、母乳と人工乳の違いのようなものです。人工乳には主要な要素とカロリーは含まれていますが母乳に隠れている微細要素を見落とすことがあります。母体から供給される抗体を含まない人工乳によって途上国の乳児が感染や下痢に悩ませられ続けました。しかも、こうした作用は被害が出た後になって気がつくのです。

今私たちのまわりでは、契約型の福祉を至上とする「言説」が流布し始めて10年を越えようとしています。国の制度もこの方向にそって大きく変わりました。しかし、福祉の持つ「温かみ」や「心の豊かさ」は「適正な契約に基づくサービスの売買」の中に、本当に見出されるものなのでしょうか？

形を整えて、「これでどうだ？」と示してくれるカラー印刷のメニューや処方箋に、温かみや心の豊かさという微細要素は含まれているのでしょうか？ ここが思案のしどころではないでしょうか。

## お知らせ

## レポート

## 滋賀県障害児者と父母の会連合会(県障連)の規約が変更されました。

会員の皆様にご報告をいたします。

今年度役員にて当父母の会連合会の規約変更が議決されました。

### 大きな変更点

- ①会長・副会長の名称を代表・副代表に変更
- ②各地域父母の会からなる幹事会を持たず、毎年総会にて年次報告(事業・決算等)、次年度予定(事業・予算等)を会員全員で決めていきます。
- ③代表・副代表は立候補にて一般募集され、総会で承認されます。
- ④滋賀県障害児協会から事務局員を派遣していただき、事務局体制を強化します。

### どうして変更されたか

- ①各地域父母の会に幹事をお願いしていましたが、各地域とも会員高齢化等様々な課題があり、幹事にかかる負担が大きくなってきました。  
そこで、県障連の活動は会員みんなで決めていくこととなりました。
- ②そのためには事務局員を専任し、県障連の運営をスリム化・強化しました。
- ③車の両輪のごとく協会との連携を、ますます強固にしていきます。

**これからも障害のある子供達のために、50余年の歴史を持つ県障連と協会を会員全員で力強く育てて行きましょう!**

### ●規約に則り、代表・副代表の立候補者の募集をさせていただきます。

#### <代表および副代表の立候補者募集要項>

平成25年度から平成26年度の本会の代表および副代表の候補者を下記のように募集致します。

○立候補資格: 滋賀県障害児者と父母の会連合会に所属していること。

※ただし、代表と副代表の両方に重複して立候補することはできません。

○受付期間: **平成25年4月1日(月)~30日(土)**まで

○届出方法: 立候補者は代表・副代表の何れに立候補するのかを明示し、事務局まで、メールまたは郵送にて届け出て下さい。

#### 滋賀県障害児者と父母の会連合会

事務局: 〒524-0022 守山市守山町168-1  
TEL: 077-583-6395 FAX: 077-514-1702  
E-mail: info2005@open-mind.jp



## 立命館守山中学校 障害児者理解教育合同講演会 感想文発表

昨年2月に、平成23年度 障害児者理解教育合同講演会が、立命館守山中学校で開催されました。講師に、前年に引き続き中村富美子さん(近江八幡支部・父母の会副会長)、そして新たに、菅原美代子さん、高阪正枝さん(大津支部)、松山正和(湖南支部)にお願いしました。お話を聞いた後、感想文を書いていただきました。その中から、それぞれのクラスを担当された講師の方に1点選んでいただきました。(感想文は一部抜粋させて頂いております。)障がい、お友達、人権、命のことなど、今の自分と照らし合わせ気づいた事、感じたことを書いていただいています。

### 1組の感想文

講師 中村富美子

僕は、今まで障がいのある人を見るとき、避けました。しかし、お話を聞いて、障がい者の人たちも一生懸命生きている事をしました。そして障がいを持った息子さんを大切に育ててこられたことに感動しました。僕たちは、障がいを持っている人だからと言って身分差別することなく、協力しあい、助けあいながら生きていかなければならぬと感じました。夢はゆっくりだが、叶うという言葉を胸に、これから僕は自分のためだけでなく、他の人のことも考えて精一杯生きていきたいと思います。今、現在、毎日元気に過ごせることに、とても感謝しています。



### 2組の感想文

講師 菅原美代子

今日のお話を聞いて、私は、「人って見かけではわからないんだな」と強く思いました。私のいところにも自閉症のお兄さんがいるが、同じだなと思った。生まれながら障がいがわかるから、お母さんはすごく驚くと思う。でも「育てていて、楽しい」この言葉は「すごいな」と尊敬した。息子さんは、自分の障がいをわかってないと知っているのすごくビックリした。もうひとつ驚いたのは、「絵」だった。息子さんの描いた「世界」を見るなり、「世界観」というものに引き込まれていった。すごく私の心を奮い立たせてくれて、一瞬で人の心を引き付ける、そんな感じの絵だった。



### 3組の感想文

講師 高阪正枝

私は、幼稚園から家の近くに同じ年の障がい者がいました。小学校では、一緒に帰ったりしていました。急に止まり、違う道から帰りました。塾もあったので、正直その子と帰ることがいやだと何度も思いました。でも、今日のお話を聞いて、見捨ててはならないと思いました。障がい者に優しく接したらいい、ただそれだけのことしか思っていたなかったけど、一緒に感じる、分かり合えることが大切だと感じました。たとえ、障がいを持っていても考えること、感じることができるのなら、同じ人と思えました。



### 4組の感想文

講師 松山正和

「気配り、気づかい、声かけ」今回松山さんの話を聞いて一番心に残った言葉でした。なぜなら、この言葉は、障がい者だけではなく、すべての人権に少しでも関わっていると思ったからです。私の周りにも、交通事故で障がいをおった友達がいます。その子はだんだんクラスの中で少し避けられるようになりました。しかし、人権について考え、その子の話を聞く時間があり、その日から、みんなの態度が少し変わってきたのです。



私はどんな障がいを持っていても、ひとりひとりを大切にし、人権を守っていく必要があると思いました。そして、毎日楽しく過ごせるような暮らしを私たちがつくっていかなければいけないと思いました。

## 障がい児者との共育・共生をめざす作文 受賞者発表

今年で、4年目を迎えました。応募総数216編の中から受賞者13名が決定いたしました。多くのご応募をありがとうございました。6月に彦根市で開催されます県大会にて、受賞作品の朗読を予定しております。また、作文集を制作しておりますので、目を通していただくとあります。

●作文集の問い合わせ先  
滋賀県障害児協会 TEL: 077-514-1685

- 理 事 長 賞 守山市立守山南中学校2年 原田 果歩さん
- 会 長 賞 守山市立守山南中学校1年 音野 和輝さん
- 審査委員長賞 彦根市立西中学校 1年 山根 久実さん
- 審査員特別賞 彦根市立金城小学校5年 藤川 快さん

### 佳作

- |                      |                     |
|----------------------|---------------------|
| 彦根市立西中学校1年 弓削 海斗さん   | 甲賀市立綾野小学校3年 村田 茜香さん |
| 長浜市立西中学校1年 稲田 佳邦子さん  | 長浜市立小谷小学校4年 辻中 翔麻さん |
| 彦根市立稲枝中学校1年 石谷 愛里さん  | 長浜市立神照小学校5年 大住 倭子さん |
| 大津市立日吉中学校2年 島村 優花さん  | 長浜市立小谷小学校5年 中島 百恵さん |
| 大津市立日吉中学校3年 佐久間 瑞季さん |                     |

# インフォメーション

## 第57回 滋賀県肢体不自由児者 福祉大会

日時 平成25年6月30日(日)

会場 ひこね燐ばれす

〒522-0043  
滋賀県彦根市小泉町648-3  
TEL:0749-26-7272  
FAX:0749-26-7377

## 第48回 近畿肢体不自由児者 福祉大会

日時 平成25年9月7日(土)

会場 奈良県文化会館

〒630-8213  
奈良県奈良市登大路町6-2  
TEL:0742-23-8921  
FAX:0742-22-8003

## 第46回 全国肢体不自由児者 父母の会連合会 全国大会

日時 平成25年  
10月26日(土)~27日(日)

会場 パシフィックホテル沖縄ほか

〒900-0036  
沖縄県那覇市西3丁目6番1号  
TEL:098-868-5162  
FAX:098-868-8876

## Dr.植松の Q & A



### 植松潤治先生プロフィール

かいづり診療所 院長

湖北グループクリニック 院長

日本小児科学会専門医  
日本小児神経学会専門医

日本リハビリテーション  
医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業。医学博士。介護支援専門員。日本小児科学会、日本小児神経学会、日本リハビリテーション医学会所属。

### Q PM2.5って何? 花粉症とどう違うんですか。

春になるとスギ花粉症が大流行しますね。花粉症についてはかいづり通信No.80のQ&Aを読んでみてください。

さて、PM2.5についてですが、この2.5というのは微粒子の平均的直径を指しています( $2.5\mu m$ )。スギ花粉が $30\sim40\mu m$ の大きさですから、かなり小さいですね。スギ花粉では目や鼻の粘膜に直接接触することで、アレルギー反応が生じ涙や鼻水が止まらなくなってしまうという症状が出ます。これが花粉症です。

PM2.5で問題になる微粒子は排気ガスに含まれているものが多いことから、環境悪化の指標にもなります。当然健康にも影響が出ることが報告されています。特に気管支喘息や肺がんの原因にもなりうるという研究報告もあり、かなり深刻な環境問題と言えますね。

中国からの黄砂は主に砂塵のことですが、これらも微粒子を含んでいますが、日本に飛来する黄砂の平均直径は $4\mu m$ 程度と言われています。やはり、気管支に吸着してしまうと喘息の原因になります。

これらの予防は微粒子を吸い込まないことに限ります。外出するときは、マスクが有効ですが、花粉程度の大きさなら十分排除できますが、PM2.5となると通常のマスクではカットできません。N95という特殊マスクならOKですが、このマスクは息が苦しくなることも多いあります(外から微粒子が入らないということは、空気もなかなか入らないということは想像できますね)。また、環境省などが発する大気汚染情報(「そらまめ君」情報)にも注意をしてください。警報などが出る地域での不急的な外出は控えましょう。



### Q

### A

### PM2.5って何? 花粉症とどう違うんですか。

春になるとスギ花粉症が大流行しますね。花粉症についてはかいづり通信No.80のQ&Aを読んでみてください。

さて、PM2.5についてですが、この2.5というのは微粒子の平均的直径を指しています( $2.5\mu m$ )。スギ花粉が $30\sim40\mu m$ の大きさですから、かなり小さいですね。スギ花粉では目や鼻の粘膜に直接接触することで、アレルギー反応が生じ涙や鼻水が止まらなくなってしまうという症状が出ます。これが花粉症です。

PM2.5で問題になる微粒子は排気ガスに含まれているものが多いことから、環境悪化の指標にもなります。当然健康にも影響が出ることが報告されています。特に気管支喘息や肺がんの原因にもなりうるという研究報告もあり、かなり深刻な環境問題と言えますね。

中国からの黄砂は主に砂塵のことですが、これらも微粒子を含んでいますが、日本に飛来する黄砂の平均直径は $4\mu m$ 程度と言われています。やはり、気管支に吸着してしまうと喘息の原因になります。

これらの予防は微粒子を吸い込まないことに限ります。外出するときは、マスクが有効ですが、花粉程度の大きさなら十分排除できますが、PM2.5となると通常のマスクではカットできません。N95という特殊マスクならOKですが、このマスクは息が苦しくなることもあります(外から微粒子が入らないということは、空気もなかなか入らないということは想像できますね)。また、環境省などが発する大気汚染情報(「そらまめ君」情報)にも注意をしてください。警報などが出る地域での不急的な外出は控えましょう。

環境省大気汚染物質広域監視システム「そらまめ君」ホームページ  
<http://soramame.taiki.go.jp/>

# トピックス

## 目田川桜並木計画の桜のオーナーになりました!



▲滋賀県障害児協会から4人が参加。今回で71本の桜の木が植樹された。



▲湖南ホームタウンから2本が植樹された。

## 「獅子舞で初笑い」&似顔絵



平成25年1月5日(土)湖南ホームタウンにて「獅子舞で初笑い!」のイベントを開催しました。お正月の行事として、初めて企画。地域の方やご家族の方も参加して、賑やかな1日となりました。獅子に頭をガブリとかまれ、今年一年の健康を祈願しました。獅子舞と合わせてプロの似顔絵師による似顔絵も描いていただきました。ちょっと若返った自分の顔を見て、恥ずかしい笑顔に、癒された1日でした。

## 縁の下の力もちサン

ご支援ありがとうございました!  
(平成24年12月~平成25年2月分掲載)

### 寄付金

#### 【湖北タウンホーム・滋賀県障害児協会】

虎姫赤十字奉仕団様、山中賀子様、岩口由紀様、乗光秀明様、川添喜美恵様、中島秀和様

#### 【湖南ホームタウン・滋賀県障害児協会】

(有)守山新聞センター太田義人様、向井正裕様、滋賀県自閉症協会様

### ボランティア

#### 【湖北タウンホーム】

小崎満智子様、おやじの会様、コーラスもず様、伊藤ゆきゑ様、古脇慶子様、虎姫老人会様、日赤奉仕団様

#### 【湖南ホームタウン】

吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会ボランティア登録者様、車椅子レクダンス矢車草の会様、レイカディア大学31・34期生様、楽々20様、北川英次様、森田孝子様、吉岡信子様、芝田規子様、樋口操子様、松村糸代様、大倉ミヤコ様、津田貞子様、津田善之助様、三本栄子様、朝倉康夫様、川邊康子様、森とし子様

### 物品ご寄付

#### 【湖北タウンホーム】

ライフ様、日清医療食品様、滋賀短期大学様、ケムコ商事様、平川治療院様、松宮久江様、米沢とや子様、高橋敏彦様、池田美代子様、池田郁子様

#### 【湖南ホームタウン】

守山市社会福祉協議会守山善意銀行(杉田良子)様、守山市社会福祉協議会守山善意銀行(滋賀県中部地区郵便局夫人会栗野部会)様、守山市社会福祉協議会上林武夫様、守山市社会福祉協議会守山善意銀行ダイヤモンドグループ様、北川英次様、モリ商会様、八島昭三様、青木保忠様

#### 【書き損じハガキ】

滋賀県年金受給者協会様、石山市民センター様、守山市社会福祉協会様、草津市立松原中学校様、草津市立草津小学校様、川添喜美恵様、森哲弥様、向井みよ様

書き損じハガキが  
ございましたら、  
父母の会事務局まで  
よろしくお願いします。

# 障害者権利条約ってなに?

シリーズ第15回目

## 私たちこそ 権利と自由の女神

イラスト:小林一美

“障がいがあるから”“女子だから”と行く先を阻害しないで!私たちには、「自由に、持っている能力を活かし、成長する」。そんな権利があるんだから。



**障害者権利条約から  
部分的に抜粋して  
ご紹介します。**

**第6条  
障害のある女子 より…**

(1)締結国は、障害のある女子が複合的な差別を受けていることを認識し、及びこの点に関し、障害のある女子がすべての人権及び基本的自由を完全かつ平等に享有することを確保するための措置をとる。

(2)締結国は、女子に対してこの条約に定める人権及び基本的自由を行使し、及び享有することを保障することを目的として、女子の完全な能力開発、向上及び自立的な意思決定力を確保するためのすべての適当な措置をとる。

障害者の権利に関する条約和文テキスト(仮訳文)より。

※外務省ホームページをご覧下さい。

障害者に関する法は、リハビリテーションや福祉の観点から考えることが多いですが、障害者権利条約は人権の視点、障害者の視点から作られた条約であることが特徴的です。

## 滋賀県心身障害者扶養共済制度

この制度は、各都道府県が障がい者の保護者の相互扶助の精神に基づき、保護者死亡後の障がい者に終身一定額の年金を支給することにより障がい者の生活の安定と福祉の増進に資することを目的とします。加入者数は、口数ベースで、82,260人、年金受給者は、49,467人となっております。(平成23年度現在)加入者・受給者の皆様、住所等の変更がありましたら、扶養共済窓口までご連絡ください。

■扶養共済窓口  
TEL:0749-73-3910 FAX:0749-73-3920



## いつも元気でね健診

かいつぶり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。

お申込・お問い合わせはかいつぶり診療所まで

**TEL:077-514-1715**



## 赤い羽根共同募金



社会福祉法人滋賀県障害児協会では、赤い羽根共同募金(社会福祉法人滋賀県共同募金会)からの配分を受けて、かいつぶり通信の発行をしています。

<http://www.akaihane.or.jp/>

赤い羽根共同募金ホームページ

### 編集後記

「花に嵐のたとえもあるさ　さよならだけが人生だ」これは、井伏鱒二さんが訳した漢詩です。“どんなに美しく咲いている花だって突然の嵐によってその全てを奪われることがある。明日は何が起こるかわからない。これが人生。この事実からは逃れることができない。だから、ただ前を見つめて進もう、後悔しないように。私の勝手な解釈ですが…《松田》

### 【編集人】

社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内  
[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702 [URL]<http://open-mind.jp>  
[E-MAIL]kaitsuburi@open-mind.jp

滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいつぶりハウス内  
[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702  
[URL]<http://hubonokai.open-mind.jp> [E-MAIL]info2005@open-mind.jp

■1984年 8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 ■発行人 関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円

8